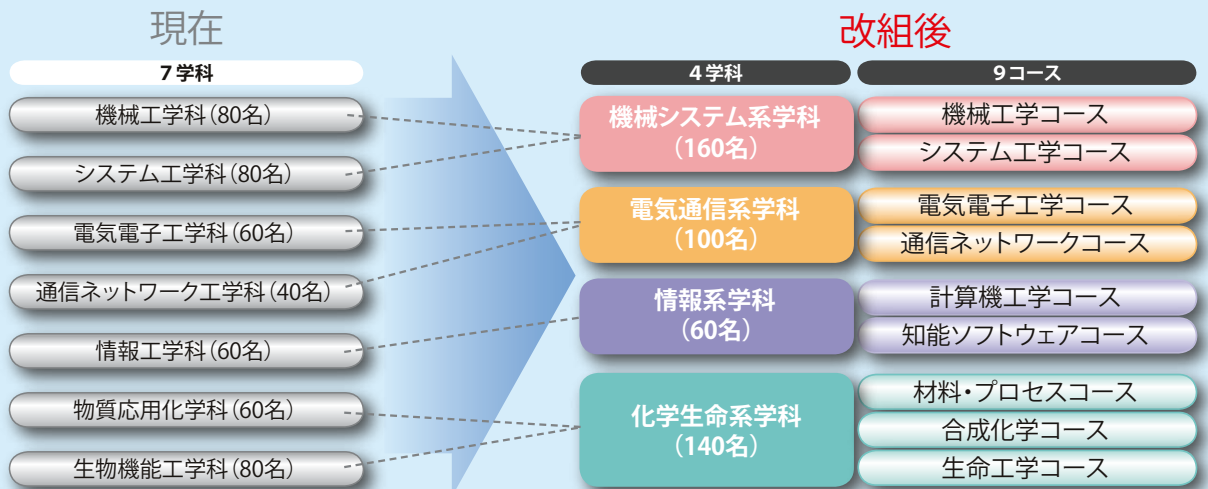


TOPICS!
岡大

工学部が学科再編

～谷口工学部長に聞く



(注) 上記の正規入学定員以外に、工学部全体の第3年次編入学定員が30名。

地元産業界の要望で、1960（昭和35）年に設立された工学部。今年50周年を迎え、卒業生は日本有数のインフラ企業や、地元人気企業などで活躍しています。さらなる飛躍に向け、来年度からは学科を再編。より一層時代の要請に合わせた人材を育成できるように、入試や教育内容を見直します。今春着任した谷口秀夫工学部長に改組の狙いや教育方針を聞きました。

「7学科を4学科に集約し、その下に電気電子工学など9コースを設置する学科再編。狙いを教えてください。」

「工学離れの中、本質的な魅力アップを図りました。大学の専門教育の中心は高校生にはわかりにくいですが、学科を選んで受験し、1年半後にコースが選べるようになるので、志望を絞り込めなくても受験しやすくなります。転学科も入学後の成績で判断。志望の変化に柔軟に対応します」

「志望が明確な学生は、希望通りに進めるか心配するのではないのでしょうか。」

「そのついでに学生のために『コース選択制』を導入します。入試成績上位者にコースの優先選択権を保証するという国立大学ではユニークな制度です。また、6割強が大学院に進むので、コース分類は大学院の専攻分野とつながりを持たせています」

「履修の方法や科目は変わりますか。」

「工学部全体や学科ごとに共通科目を用意し、例えば、自動車の原理やコンピュータの構造などは、工学部全員に学んでもらおうと考えています。かつては、1学科の技術で一つの製品が作れましたが、今は複数学科の多様な知識や技術を組み合わせ、生活を楽しく豊かにする製品やサービスを生み出す時代。産業界の要望に応えるには、専門分野だけでなく、幅広い工学知識を身に付けた人材を育成する必要があります」

「共通科目に、プレゼンテーション力も設定することですが。」

「情報系の民間企業で十数年間勤務していましたが、企業では、説明できないのは知れないのと同じ。理系学生はコミュニケーションが下手で、不当に低く評価されているのがとても残念でした。学部共通科目はクラス編成も名前順にし、学科を超えた人間関係づくりを促したいと思います」

「工学部を目指す高校生や在学中に伝えたいことは。」

「わたしは学生時代、大事な講義のノートは一度書き、整理して勉強しました。大学は学ぶ場所だから、効率化は不要。今でも講義は板書し、指導は厳しいと言われていた。でも『鍛えてください』とセミを希望する学生もいます。岡山大学に入学した時点で、学生は努力し勉強したら知識が身に付くと保証された人材。やればできる、というプライドを持ち、工学部で勉強の方法論を身に付ければ、社会で活躍できるはず」